適用題「海の命」（光村図書六年）

＊適用題に使用する教材文・・・「わらぐつの中の神様」（光村図書五年）

学んだことをたしかめよう

【問題】

五年生で学習した「わらぐつの中の神様」を読んで、次の【「わらぐつの中の神様」登場人物関わり図】を作ります。例の書き方を参考にして、　　　　　　　　　の(ア) (イ)に当てはまる言葉や文を書きましょう。また、(ウ)には、登場人物の行動や会話と生き方や考え方を関連付けて書きましょう。

名前（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【「わらぐつの中の神様」登場人物関わり図】

例

|  |
| --- |
| 「千びきに一ぴきでいいんだ。千びきいるうち一ぴきをつれば，ずっとこの海で生きていけるよ。」 |
| 与吉じいさ |
| つりをしているとき，独り言のように語った。 |
| 太一は，「ぼくは，漁師になる。おとうといっしょに海に出るんだ。」と言ってはばからなかった。このことから，大物をしとめても，じまんすることもなく，「海のめぐみ」だと言う父へ，あこがれをいだいていたことが想像できる。 |

|  |
| --- |
| 「おれは、わらぐつをこさえたことはないけども、おれだって職人だから、仕事のよしあしは分かるつもりだ。いい仕事ってのは、見かけで決まるもんじゃない。使う人の身になって、使いやすくじょうぶで長もちするように作るのが、ほんとのいい仕事ってもんだ。おれなんか、まだわかぞうだけど、今にきっと、そんな仕事のできる、いい大工になりたいと思っているんだ。」 |
| (ア) |
| (イ) |
| (ウ) |
|  |
|  |
|  |

だれが言った言葉なのか

どのような場面でどのような様子で言ったのか

この言葉を聞いた太一はどのように考えたのか（どのように受け止めたのか）

だれが言った言葉なのか

どのような場面でどのような様子で言ったのか

この言葉を聞いたおみつさんはどのように考えたのか（どのように受け止めたのか）

（書き方の例）

|  |
| --- |
| 「おれは、わらぐつをこさえたことはないけども、おれだって職人だから、仕事のよしあしは分かるつもりだ。いい仕事ってのは、見かけで決まるもんじゃない。使う人の身になって、使いやすくじょうぶで長もちするように作るのが、ほんとのいい仕事ってもんだ。おれなんか、まだわかぞうだけど、今にきっと、そんな仕事のできる、いい大工になりたいと思っているんだ。」 |
| (ア)大工さん |
| (イ)おみつさんがきょうしゅくしているときに，急に真面目な顔になって言った。 |
| (ウ)この言葉をこっくりこっくりうなずきながら聞いていることから，おみつさんは，この大工さんは仕事に対してしっかりとした考えを持った人だなとしみじみと感じていることが想像できる。おみつさんが大工さんのところへおよめに行くことにしたのは，大工さんのこの言葉から，こんなにしっかりした考えを持った人といっしょになったら幸せになるだろうなと思ったからだと想像できる。 |

《評価のポイント》

本単元で，児童に身に付けさせたい力は，「登場人物同士の関係を捉え，登場人物の生き方について自分の考えをまとめる力」です。

評価をする際は，特に(ウ)の部分ついて，以下の２点を書くことができているのかに注目するとよいでしょう。

(1)登場人物の行動や会話（右記　　　　部）と，

行動や会話から想像できること（右記

部）を書くことができているのか。

(2)想像して書いた部分が，登場人物の行動や会話

を基にすることができているのか。